



5/13

今シーズンの安全を祈願 白鷹山夏山開きを開催

「高い山の日」となるこの日、恒例の「白鷹山夏山開き」が開催され、白鷹山を境とする山形市、上山市、南陽市、山辺町、そして白鷹町の関係者や登山客の方が参加しました。

まずはじめに、田宮修副町長が代表し白鷹山虚空蔵尊に拝礼を行い、参加者の皆さんとともに今シーズンの安全を祈願しました。その後、白鷹山休憩舎にて、村山総合支庁産業経済部森林整備課の工藤秀之課長補佐が夏山開きを宣言。あいにくの天候ではありましたが、多くの参加者とともに盛大に夏山開きが行われました。



▲白鷹山虚空蔵尊前にて、安全を祈願しました

5/14

交通事故の恐ろしさを目の前で体験 白鷹中学校でスタントマンによる交通安全教室

J A 共済が地域貢献活動の一環として行っている「自転車交通安全教室」が白鷹中学校で行われました。

東京都に拠点を置く「スーパードライバーズ」のスタントマンが、実際に起こった交通事故の再現を披露し、事故の本当の恐ろしさを生徒たちに伝えました。

生徒たちは、その衝撃的なシーンに思わず息をのむ瞬間があった様子で、交通事故が起こる原因や、よくある不注意などを再確認しました。

白鷹中学校には、自転車で通学する生徒も多くおります。今回の交通安全教室を通して、常日頃の安全意識の大切さを、改めて強く実感しました。

- ▶よくある事故発生の原因を生徒が身をもって体験しました
- ▼スタントマンによる事故の再現その光景に息をのむ生徒たち



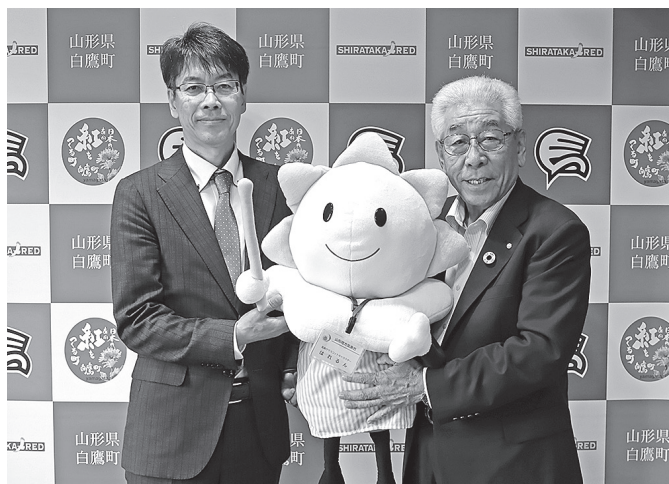
5/17

気象に関する情報から防災を考える 山形地方気象台長が表敬訪問

この日、山形地方気象台の有賀孝幸台長が佐藤町長を表敬訪問し、今年度の気象台の取組について説明されました。

今年度については、線状降水帯の予測精度向上に向けた取組を行うとともに、迫りくる危険から直ちに避難していただけるように、一人一人に危機感を伝え、防災対応につなげるための取組を実施するとのこと。

町としても、気象台と連携を図りながら迅速かつ正確な情報をもとに、町民の安全安心をいち早く確保できるよう取り組んでいきます。



▲有賀台長（左）と気象台イメージキャラクター「はれるん」



4/24

永年の地域貢献が評価され 荒砥高等学校が文部科学大臣賞を受賞

文部科学省では、平成14年度から、国民の間に広く子どもの読書活動についての関心と理解を深めるとともに、積極的に読書活動を行う意欲を高める活動を推進するため、特色ある優れた実践を行っている学校・園、図書館、団体・個人に対し、大臣表彰を行っています。

そしてこのたび、荒砥高等学校は、20年以上続いている町立図書館での「読み聞かせの会」などの活動が高く評価され、文部科学大臣賞を受賞。この日、受賞報告のため来庁しました。受賞、誠におめでとうございます。



▲石田充校長（左）と図書委員長の柳谷優衣さん（中央）

4/30

町民の安全を守り、農作物被害を食い止める 鳥獣被害対策実施隊委嘱式

鳥獣による農林水産業等への被害防止や軽減のために活動する白鷹町鳥獣被害対策実施隊。その委嘱式がこの日、白鷹町役場にて行われました。

鳥獣被害対策実施隊は、わなや銃器の取扱い資格を有する方々で構成されており、近年拡大傾向にある鳥獣被害について、対象鳥獣の捕獲や情報収集等を適切に行い、被害防止対策に取り組んでいます。

委嘱式に参加した隊員は、真剣な面持ちで式に臨み、一人一人佐藤町長より委嘱状を受け取りました。



▲佐藤町長より委嘱状が手渡されました

5/10

永年の功績をたたえて 児玉秀朗副団長が藍綬褒章を受章

令和6年度春の褒章において、白鷹町消防団副団長の児玉秀朗さんが藍綬褒章を受章し、この日、佐藤町長を表敬訪問しました。

児玉さんは、平成9年に町消防団に入団し、班長、副部長、部長、副分団長、分団長を歴任され、令和3年に白鷹町消防団副団長に就任。入団以来27年の長きにわたり消防防災活動の発展に献身的にご尽力され、消防力の強化に寄与されました。

このたびの受章、誠におめでとうございます。



▲藍綬褒章を受章した児玉秀朗副団長（左）